

## 平成28年度第4回外洋常任委員会 議事録

日時：平成29年2月25日（土）16：30～17：50

場所：東京都夢の島マリーナ第3会議室

出席者：（理事）

坂谷定生常務、平松隆、菊池邦仁、馬場益弘、宇都光伸、平井昭光  
（委員会）

ルール委員会外洋規則小委員長 大村雅一

国際委員会外洋小委員長 鈴木一行

レース委員会外洋小委員長 三浦信郎

外洋常任委員会事務局 鈴木保夫

（順不同、敬称略） 計10名

### 協議内容

#### 1) 平成29年度の各委員会予算について

坂谷：外洋の各委員会からの予算について説明する。

外洋常任の収入1200万円の内、1000万円はNYCインビテーションナルカップへの参加費用として、馬場理事からの寄付金である。

差額の200万円は植松副会長からの寄付である。

ジャパンカップは500万円で計上した。

主催者保険分担金の100万円は加盟団体からの主催者保険料の分担金である。

関係加盟団体分担金は、JSAF会員加入者システムの外洋係に関するソフトの追加開発費の加盟団体分担金である。

支出は、旅費交通費として100万円、外洋レースの支援費として80万円、これはパールレースでも助成を受けている。

ジャパンカップで500万円、これは収入と同じ金額を支出としている。

ジャパンカップはJSAF主催なので、JSAFの予算に組み込まれている。

NYC参加費も同様に収入と支出が同じ金額である。

収支合計では、収入2090万円に対して2035万円となっている。

外洋計測は、収入1142万円に対して、支出1306万円で赤字予算となっている。

外洋全体では、収入32,471,000円、支出33,955,000円で1,284,000円の赤字予算となっている。以上が予算の報告である。

三浦：外洋小委員会に予算が欲しい。

坂谷：外洋常任の旅費交通費・通信費・会議費に100万円計上しているので、要望があれば会議費的なものはこの中で対応したいと考えている。

## 2) 今後のレーティング及び組織改編に関する方向性について（確認）

坂谷：IRC と ORC の今後について、外洋計測委員会が設置した「今後の計測に関する検討グループ」の会議が1月14日に開催され、5項目の基本的な考え方が示されたが、それを下記のように纏めたので意見を聞きたい。（5項目読み上げる。）

- ①ほとんどの国内レースに IRC システムが採用されており、これらの実態と担当能力に鑑みて、当面国内においては IRC を日本のメインレーティングシステムとする。
- ②デュアルスコアリングを推奨する。
- ③外洋計測委員会内部の委員会統合については、ディンギーを含めた、JSAF 全体の計測組織という視点と方向性で捉え、当面 2020 年を目処に検討を進める。
- ④当面、IRC と ORC の双方の委員会による証書発行事務に関して、統合が可能な事務業務を、現場を見ながら統合を進める。
- ⑤HP は IRC と ORC の双方の委員会が持っているが、計測委員会の HP を新たに、統合した設計をして製作する。データもその中に入れてアクセス権を持った人がデータを見られるようにしてコストの削減を図る。

大村：③の「ディンギーも含めた」とはどういうことか。

坂谷：これは外洋計測委員会のODC関係者から出た意見と聞いている。

平井：デュアルスコアリングの必要な理由の説明が欲しい。

坂谷：現状では上下のレースは対応できないと考えるので、ロングレースから始めるのが現実的などと考えている。

菊池：タイムオンタイムかパフォーマンスかをきちんと決めて実施しないと混乱する。

坂谷：5項目の方針について外洋常任委員会です承いただければ、関係団体にその旨示した文書を植松委員長名で出したい。特に異議無く了承された。

## 3) ジャパンカップの状況について

平松：紆余曲折があったが、お盆に11艇の泊地をシーボニアが確保してくれたので開催の見込みがたった。

8月7、8、9日がインスペクション、10、11日がインショアレース、12日がショートオフショアレース、13日がインショアレースで計8レースを行う。

3月10日に申し込み受付を開始し、4月30日まで受け付けるが参加申し込み艇が11艇になった時点で閉め切る。10艇に満たなければ中止とする。

10艇だった場合は、7月20日まで1艇のレイトエントリーを認める。

参加料は1艇50万円で乗員登録料は取らない。

実行委員会は、蒲郡で準備委員会を行い、各委員長に実行委員会のメンバーを決めてもらうことになった。

三浦：委員は実行委員長に決めてもらいたい。レースの備品情報が欲しい。

坂谷：JSAF 主催であるが、実行委員会が実施してもらいたい。

4) ライフジャケットについて

平井：理事会において JCI の備品の桜マークの問題を解決して欲しいと発言した。

大村：ディンギー系も入って法制委員会を立ち上げるべきである。

坂谷：現状の交渉結果の状況を見た上で、さらに要望するかどうかを考えたほうが良いように思える。ディンギーの方も関係することなので、次回の理事会で JSAF としてのワーキンググループ的なものを立ち上げるべく提案する方向で考えたい。

5) オープンレース WG 会議

坂谷：この議題は、各地によって事情が違ったり悩ましい問題であり、協議してもなかなかまとまらないと思うので、ワーキンググループとしては一時凍結したい。

特に異議無くそのように決定した。

6) 外洋系の組織及びビジョン策定 WG 会議

坂谷：本日は時間も無いので次回までに皆さんには検討をしてきてほしいが、基本になるのは会員状況だと思う。資料を見る限り会員の減少は以前に比べ下げ止まった感があるが、今後の状況が気になるところだ。

平井：最終的には減る傾向にあると思う。会員の年齢分布の資料が欲しい。

大村：事務局に資料があるので、後日皆さんにお知らせする。

7) 外洋常任委員会の開催予定について

坂谷：来年度の関係会議の一覧表を確認しておいてほしい。9月2日(土)の理事会が3日(日)に変更になったため、出席できなくなる委員の方があるので、この日の外洋常任委員会は中止とする。

以上

文責：鈴木保夫